

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	最近の更新年月日
真庭市	大庭地区(大庭、大日、鯨)	令和5年3月13日	令和 年 月 日

1 対象地区の現状

① 地区内の耕地面積	26.8 ha
② アンケート調査等に回答した地区内の耕作者の耕作面積の合計	24.4 ha
③ 地区内における75歳以上の農業者の耕作面積の合計	2.5 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0.3 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	2.2 ha
④ 地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	11.7 ha

2 対象地区の課題

- ① 兼業中心の農業地域で新規作目に取り組む農業者が少ない。また、地域全体の高齢化が進み、農業に取り組む、担い手が少なくなっている。
- ② 中山間地域である為、鳥獣による被害が多い。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

農地中間管理機構を利用し、個人、認定農業者及び集落営農組織が主として担う。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

① 農地の貸付等の移行

アンケート調査により貸付け等の意向が確認された 11.7 haの内、個人等へ 8.4 ha が貸付済みである。

なお、3.3 haについては、今後、個人、認定農業者、集落営農組織及び農地中間管理機構を通じて農作業受委託による農地貸付等により移行する。

② 農地中間管理機構の活用方針

農地中間管理機構を活用し、農地の集積、集約化により効率的な営農の実現を図る。

③ 基盤整備への取組方針

農業生産整備事業推進に併せて農地の集積及び集落営農の活性化を図る。

④ 作物生産に関する取組方針

(1) 特産化作物の導入について

地区特産品として、収益性の高い長ねぎ、レタス及び黒豆の生産に取り組む。

(2) 鳥獣被害防止対策について

鳥獣害対策として、侵入防止柵や放置果樹の撤去に取り組む。

(3) 里海米の集団栽培に取り組みについて

かき殻を粉砕した石灰肥料を施用した栽培に取り組み品種の統一、栽培技術を統一して共同出荷することにより収益性を高上する。

(4) SDGs の取り組みについて

稲わらのたい肥化及び液肥の散布により地力向上を促進し省力化を図る。

(5) 稲作用肥料のプラスチック殻の除去について

水田排水口でのプラスチック殻の回収方法の改善及び代替肥料の導入を図る。



年齢区分	
田	69歳以下
田	70歳~74歳
田	75歳以上
畑	
宅地	



貸付け意向	
■	田
■	田 あり
■	田 ある(貸付済)
■	田 ない
■	田 わからない
■	畑
■	宅地